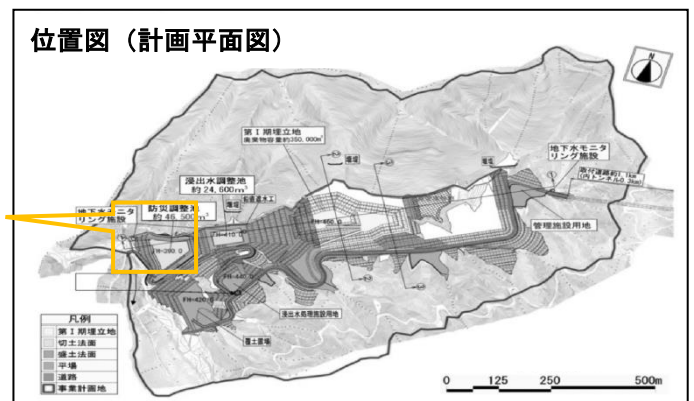


恵下埋立地（仮称）建設工事現場における新たな燃え殻について

令和元年 5 月 27 日に、恵下埋立地（仮称）建設工事現場において、防災調整池の区域内を掘削中に新たに確認された燃え殻の件について、分析結果が判明したため、以下のとおり報告します。

1 燃え殻の状況

- (1) 範囲：約 90 m² (7.6m×11.8m)
- (2) 深さ：約 1.5m～1.8m
- (3) 概ねの量：約 200 トン (約 150 m³)



2 燃え殻の分析結果等

(1) 燃え殻の分析結果

ダイオキシン類について、管理型の最終処分場で埋立処分できる判定基準値以下であることが確認された。

また、鉛を含む有害物質（25 項目）の全ての項目について、検出されなかった。

有害物質の種類	分析の結果	判定基準値
ダイオキシン類	0.38 ng-TEQ/g	3 ng-TEQ/g 以下

(2) 水質の調査結果

下流の河川や地下水の水質について、ダイオキシン類は環境基準値を下回った。

有害物質の種類	調査箇所	分析の結果	環境基準値
ダイオキシン類	河川	0.037 pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L 以下
	地下水	0.059 pg-TEQ/L	

3 今後の対応

燃え殻については、廃棄物処理法に基づき、管理型の最終処分場で適正に処理する。
なお、燃え殻の処理によって、工事工程への影響は出ない見通し。